「日経SDGs経営」 評価レポート

NIKKEI SDGs

© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved

※調査に対する弊社の考え方を調査の刷新ポイント、調査から見えてきた課題、今後の展望の3つにわたってまとめました。

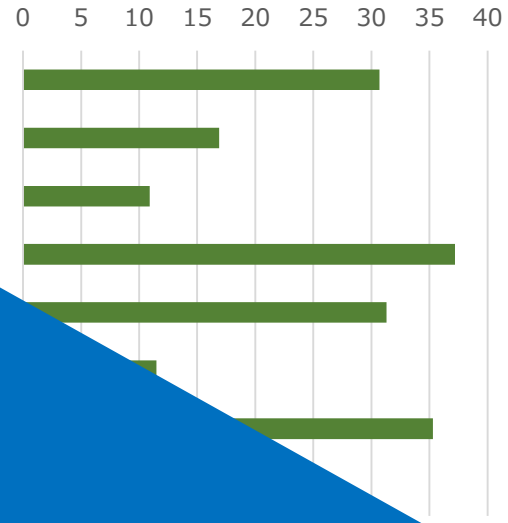
今回調査から見えてきた課題

Gs推進・経済価値

設定時のインパクトの特定とその指標化やサプライチェーン連携のための具体策など
およそ5割を切っており、自社経営の重要な指標としてSDGsを捉え、対応し
いることがわかりました。

パクト

■ EQ13：サプライヤー連携の取組



サンプル

© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved

Ⅲ－５．サマリー

各大分類を構成する小分類から、貴社の強みと考えられる項目、改善の余地が大きいと思われる項目をそれぞれピックアップしました。
挙げられた小分類の設問の回答状況について掲載しているデータ編のページも記載しておりますので、詳細な状況の確認や施策の導入改善の参考にしていただければと思います。
※ギャップが大きい場合でも、掲載を除外する場合があります。

相対的にスコアが高く、貴社の強みと考えられる項目

	大分類	小分類	偏差値 貴社	偏差値 指定企業	対応する設問・データ編ページ
1	SDGs推進・経済価値	推進体制	60.3	50.6	EQ5役員、EQ6委員会、EQ7統括部署（P●～●）
2		社内浸透	55.4	46.7	EQ10社内浸透、EQ17企業年金（P●、●）
3	社会価値	健康経営	59.6	48.9	BQ11認定、BQ14長時間労働、BQ17メンタルヘルス（P●～●）
4	環境価値	温暖化ガス排出【原単位】の実績・見込	58.3	50.2	EQ31温暖化ガス排出【原単位】実績（P●～●）
5		資源循環 分析	58.0	43.3	EQ33a資源循環分析（P●）
6		資源循環 開示	58.8	46.4	EQ33b資源循環開示、EQ34実績・目標開示（P●～●）
7		取り組み	64.7	52.8	EQ36資源循環または自然資本に関する施策（P●～●）
8	ガバナンス	ボードダイバーシティ	57.8	48.9	AQ7取締役人数、EQ54属性・経験・専門性等の開示（P●～●）

指定企業とのギャップが大きく、改善の余地が大きいと思われる項目

	大分類	小分類	偏差値 貴社	偏差値 指定企業	対応する設問・データ編ページ
1	SDGs推進・経済価値	社外開示	44.3	52.8	AQ0回答公開、EQ8体制開示、EQ11レポート（P●、●、●）
2	社会価値	社会貢献活動	40.7	50.2	EQ41社会貢献活動の開示、EQ44内容・成果（P●～●）
3		労働時間と休暇取得	45.0	53.2	BQ12～13労働時間、BQ15休暇、BQ16取り組み（P●～●）
4		女性の積極採用・活躍促進	42.7	52.0	BQ6入社、BQ7離職、BQ9勤続年数、BQ11認定、BQ21取り組み（P●～●）
5		外国人、少数者の活躍促進	39.4	49.0	BQ10外国人役員・管理職、BQ11認定、BQ21取り組み、BQ24～25障害者雇用（P●～●）
6		人的資本開示	36.5	49.5	BQ1統括責任者、BQ2戦略開示、BQ3指標開示（P●～●）
7	環境価値	温暖化ガス排出【Scope1、2】の実績・見込	47.1	56.6	EQ31温暖化ガス排出【Scope1+2】実績（P●～●）
8	ガバナンス	取締役会と指名・報酬委員会	40.5	48.9	AQ6組織形態、AQ7社外取人数、EQ47～49委員会（P●～●）

© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved

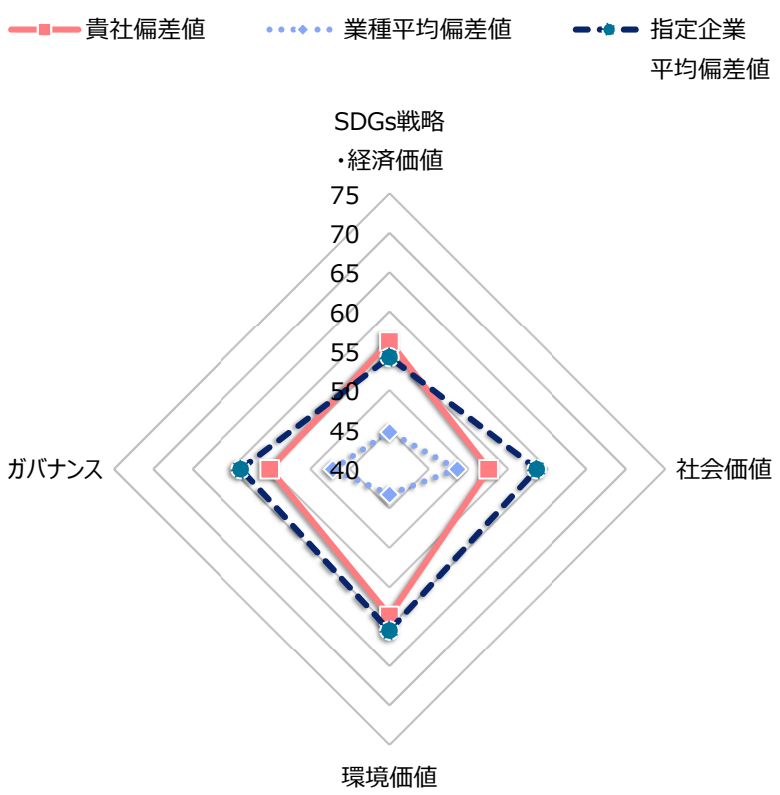
Ⅲ－１．総合・大分類評価

結果概要

貴社の総合偏差値は、56.4と全体平均の50を上回っています。
大分類4項目中では、すべての項目で50を上回っています。
指定企業平均と比較すると、「SDGs戦略・経済価値」で平均を上回っており、「社会価値」、「環境価値」、「ガバナンス」で下回っています。
※総合評価の★は星1つ、☆は星0.5を表します。

	総合偏差値	SDGs戦略・経済価値	社会価値	環境価値	ガバナンス
貴社偏差値	56.4	56.2	52.6	58.6	55.2
貴社ランク	★★★☆	A＋＋	A＋	A＋＋	A＋＋
業種平均偏差値	45.3	44.7	48.6	43.2	47.2
指定企業平均偏差値	58.1	54.2	58.7	60.5	58.9

貴社業種（AQ1回答）	その他非製造業
貴社指定企業（計0社）	A社、B社、C社、D社、E社



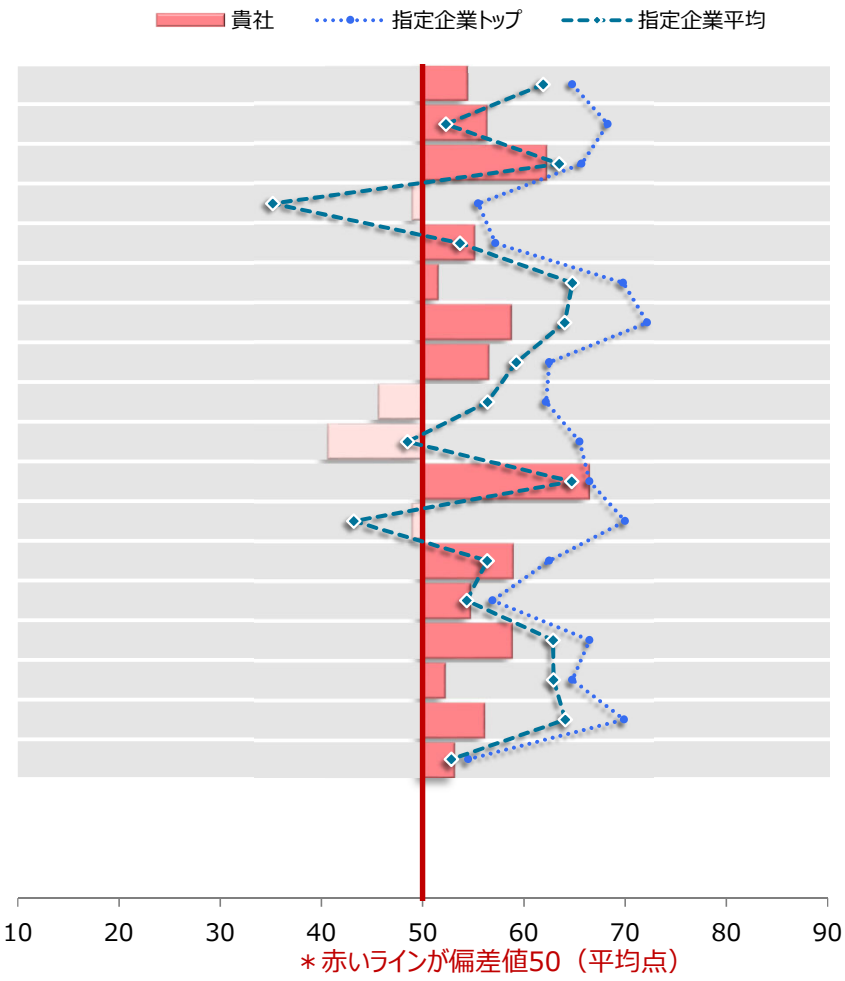
© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved

V－1．中分類偏差値

1.今回

指定企業平均と比較することで、自社が遅れているか・進んでいるかが分かります。さらに指定企業トップと比較することで、進んでいる分野においても、更なる改善の伸びしろが分かります。
※指定企業トップは、項目ごとに最も高い評価を表しています。総合評価が最も高い企業とは限りません。

		貴社	指定企業平均		指定企業トップ	
			偏差値	ギャップ	偏差値	ギャップ
SDGs戦略・経済価値	方針	54.5	61.9	-7.4	64.8	-10.3
	報告とコミュニケーション	56.4	52.3	4.1	68.3	-11.9
	推進体制・社内浸透	62.3	63.5	-1.2	65.7	-3.4
	ビジネスでの貢献	48.9	35.2	13.7	55.5	-6.6
	業績	55.2	53.7	1.5	57.2	-2.0
社会価値	人権の尊重	51.6	64.8	-13.2	69.8	-18.2
	社会課題への対応	58.8	64.0	-5.2	72.2	-13.4
	労働時間・休暇	56.6	59.3	-2.7	62.5	-5.9
	ダイバーシティ	45.6	56.4	-10.8	62.2	-16.6
	人的資本経営	40.6	48.5	-7.9	65.5	-24.9
環境価値	方針	66.5	64.7	1.8	66.5	0.0
	脱炭素の推進	48.9	43.2	5.7	70.0	-21.1
	温暖化ガスの把握・削減	59.0	56.4	2.6	62.5	-3.5
	消費電力の把握・削減	54.8	54.4	0.4	56.9	-2.1
	資源循環・自然資本への対応	58.9	62.9	-4.0	66.5	-7.6
ガバナンス	ガバナンス方針と実効性	52.3	62.9	-10.6	64.8	-12.5
	取締役会	56.2	64.1	-7.9	69.9	-13.7
	株主対応・株式保有	53.2	52.9	0.4	54.5	-1.3



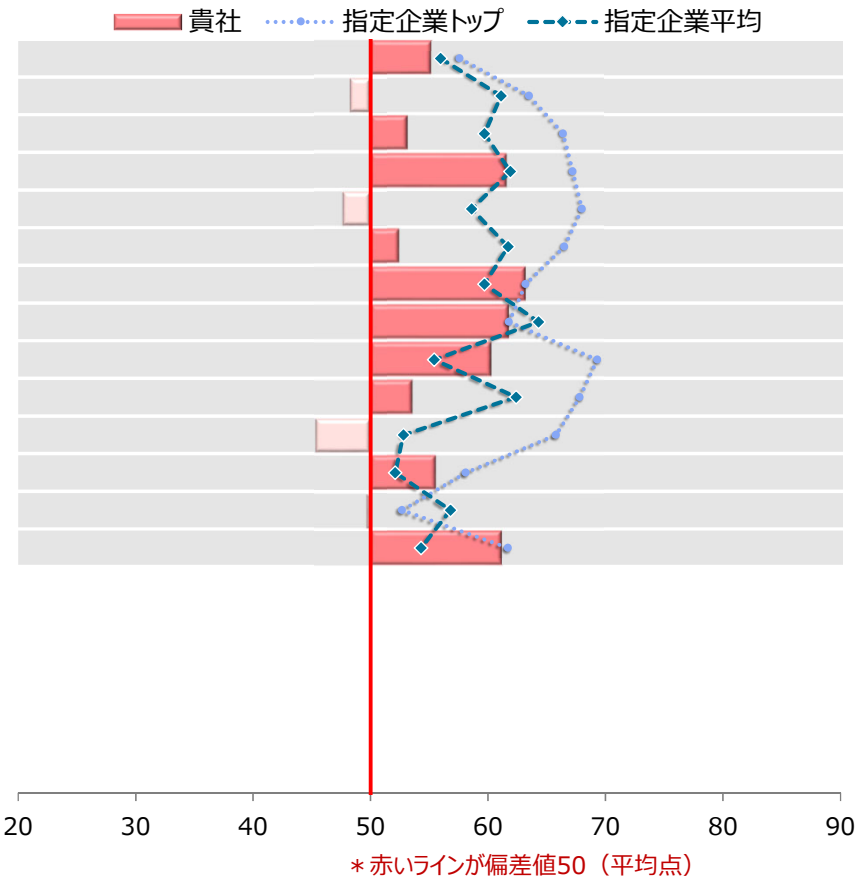
© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved

1.SDGs戦略・経済価値

具体的な取り組みに近いレベルでの自社の強み・弱みが分かります。
※指標別と同様、指定企業トップは、項目ごとに最も高い評価を表しています。総合評価が最も高い企業とは限りません。

中分類
1.方針
2.報告とコミュニケーション
3.推進体制・社内浸透
4.ビジネスでの貢献
5.業績

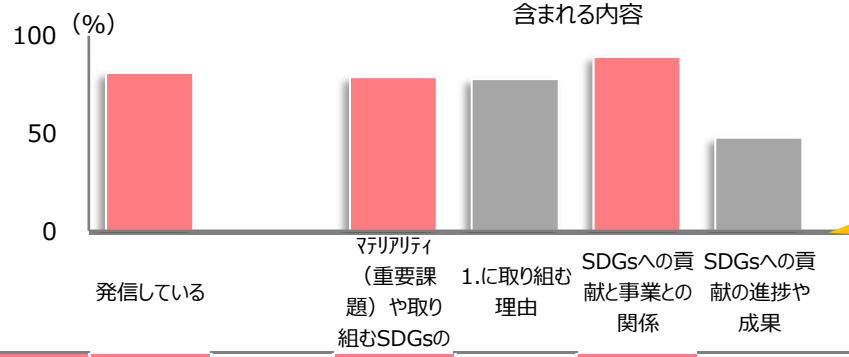
		貴社	指定企業平均		指定企業トップ	
		偏差値	偏差値	ギャップ	偏差値	ギャップ
1	経営トップによる発信	55.2	56.0	-0.8	57.6	-2.4
	重要課題（マテリアリティ）	48.2	61.1	-12.9	63.5	-15.3
	SDGsのイニシアチブへの参加	53.2	59.7	-6.5	66.4	-13.2
2	社外開示	61.6	61.9	-0.3	67.2	-5.6
	投資家との対話	47.6	58.6	-11.0	68.0	-20.4
	投資家以外のステークホルダーとの連携	52.5	61.7	-9.2	66.5	-14.0
3	推進体制	63.2	59.7	3.5	63.2	0.0
	社内外の監査・評価	61.8	64.3	-2.5	61.8	0.0
	社内浸透	60.3	55.4	4.9	69.3	-9.0
4	事業との関連	53.6	62.4	-8.8	67.8	-14.2
	ビジネス（製品・サービス）	45.3	52.8	-7.5	65.8	-20.5
5	収益性	55.6	52.1	3.5	58.1	-2.5
	成長性	49.6	56.8	-7.2	52.7	-3.1
	投資家からの評価	61.2	54.3	6.9	61.7	-0.5



© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved

選択設問の場合の例

単数選択（１つだけ）および複数選択（いくつでも）の設問については、選択肢ごとの該当状況を記載しています。
指定企業や各分析軸の該当状況を参考に、施策導入の検討材料として頂ければと思います。



回答対象全社のうち、選択肢を選んだ割合を
棒グラフにしています。
貴社が回答された選択肢については、
棒グラフを赤色で表示し、下部に「該当」と表示しております。

		発信している	ﾏﾃﾘｱﾘﾃｨ（重要課題）や取り組むSDGsの	1.に取り組む理由	SDGsへの貢献と事業との関係	SDGsへの貢献の進捗や成果
貴社		該当	該当		該当	
指定企業該当社数		5社	5社	4社	6社	3社
全体		74.6	77.4	74.7	82.6	39.6
上場区分	上場企業	74.2	76.8	74.4	82.1	39.6
	未上場企業	80.4	86.5	78.4	89.2	40.5
売上高	1兆円以上	97.1	88.9	88.1	86.7	57.0
	3,000億～1兆円未満	87.6	84.1	82.4	86.5	41.2
	1,000億～3,000億円未満	81.7	66.7	64.5	78.3	31.9
	1,000億円未満	44.1	66.0	58.0	77.0	24.0
総合偏差値	偏差値65以上	100.0	94.9	100.0	100.0	87.2
	偏差値60以上65未満	100.0	95.6	97.8	93.4	67.6
	偏差値50以上60未満	99.0	83.5	82.7	87.4	47.2
	偏差値50未満	47.4	63.4	56.1	71.3	22.0
業種	製造業合計	84.7	75.9	74.2	83.9	40.1
	非製造業合計	65.1	79.3	75.2	80.9	39.0

貴社が指定した企業のうち、
実施していると回答した企業の社数が表示されます。

各分析軸ごとに選択肢を選んだ割合（%）
を掲載しています。

© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved

数量値設問の場合の例

数量値でうかがう設問については、各分析軸ごとの平均値・中央値および、指定企業の平均値を掲載しています。
取り組みを進めるうえでの目標値としてご活用ください。

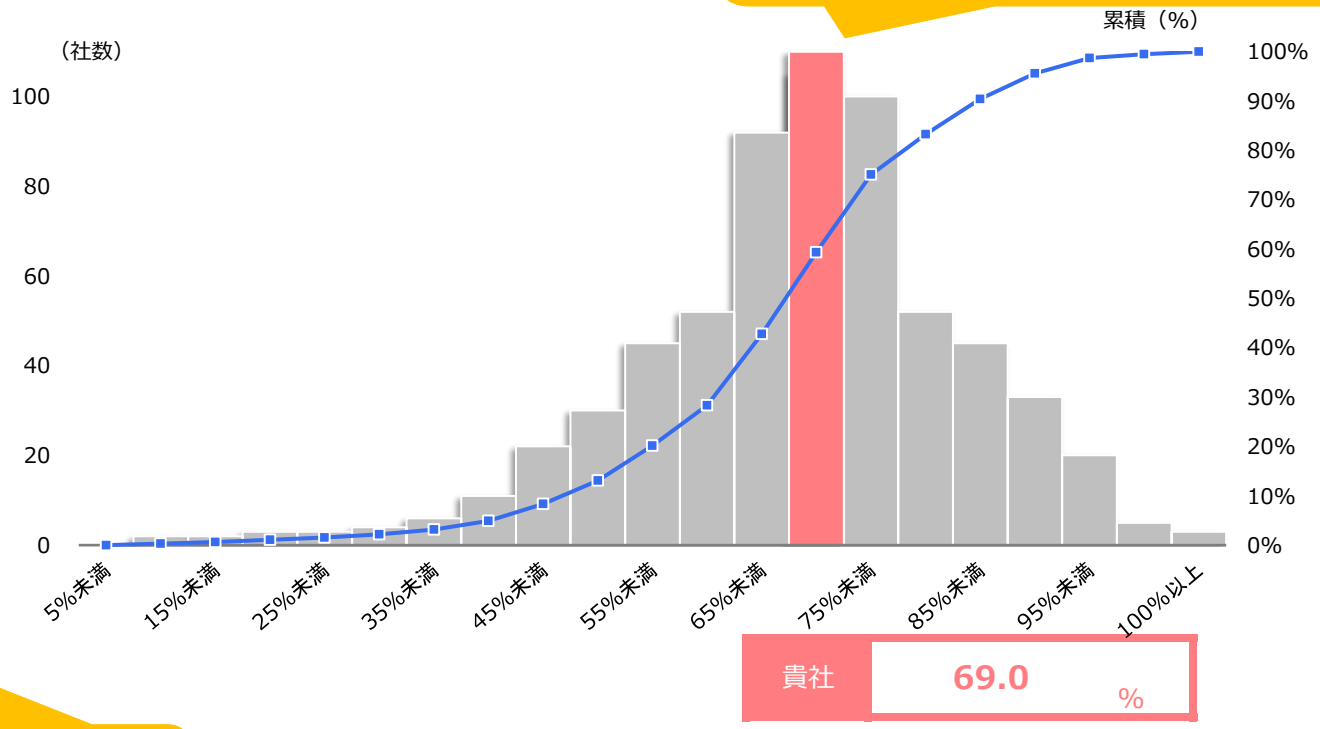
値の分布をヒストグラムで掲載しています。
貴社および指定企業の位置もプロットしています。
※値は四捨五入して表示している場合もございます。

«分析軸別　平均値・中央値»

	平均	中央値
【上場区分】		
上場企業	65.6	66.7
未上場企業	65.9	70.4
【売上高】		
1兆円以上	71.4	74.0
3,000億～1兆円未満	68.0	68.8
1,000億～3,000億円未満	65.1	65.7
1,000億円未満	58.6	60.4
【SDGs総合偏差値】		
偏差値65以上	70.9	72.4
偏差値60以上65未満	72.6	72.7
偏差値50以上60未満	69.8	70.1
偏差値50未満	59.5	60.3
【業種（AQ1）】		
製造業合計	69.3	69.1
非製造業合計	61.8	62.7

各分析軸ごとの集計値として、
平均値と中央値を掲載しています。

«ヒストグラム»



	社数	平均	中央値
全体	635	65.6 %	67.1 %
指定企業	5	56.9 %	

© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved

自由記述設問の場合の例

貴社	目標 1 2
概要	食糧の確保が困難な貧困層の方々への食糧提供
内容	マダガスカルにおいて新型コロナウィルス感染症拡大の影響で、食糧の確保が困難になった当社工事施工地域周辺に住む貧困層の方々に、米や食用油を提供した。
成果	貧困層の方々の食糧問題解決に寄与した。

※申込書に記入いただいた順に、調査票EQ０で「公開可」とご回答いただいた企業を表示しています。
※ご回答が表示スペースに入らない場合は、適宜、編集させていただく場合もございます

A社	目標 11
概要	地域の防災対応に協力している。
内容	本社に水ステーション・充電ステーションを設置し大規模災害時に生活用水と電源を供給するほか、緊急避難用のスペースや食品を市民に提供する協定を結んでいる。
成果	これまで実際に使用されたことはないが、防災だよりで当社の活動を取り上げていただくなど市民への周知が図られている。

B社	目標 2
概要	自社製品の提供
内容	全国のフードバンクや子ども食堂、広島県が行う小学校無料朝食事業などに自社製品を提供して協力している
成果	各団体を通して、有効に利用されている。

C社	目標 4
概要	次世代人材の育成
内容	学生小論文コンテストやキャリア教育プログラムを実施して、日本の将来を担う次世代の人材の育成を行っています。
成果	キャリア教育プログラムの一つであるIT戦略プログラムでは、将来、不足すると予想されるIT人材の育成を行っています。学生小論文コンテストでは自身が持つアイディアを表現できる場を提供して、創造力のある人材を育てています。

© Nikkei Research Inc. All Rights Reserved